

審査の結論が出ているものと理解する。また、パワハラは、絶対に認めることはできず、あつてはならないことである。市職員が不安や恐怖を感じながら議員への対応をしながらはならなくなったことを考えれば、このような行為を行う議員は、議員としての資格が無いということを示さなければならぬと考える。

以上のことから、本決議案に賛成する。

**決議案第4号 反対討論**

私は、稲浦議員の現在の所属党派である改革フォーラムの代表をしている。問題となった今年の6月時点では、稲浦議員は同党派に所属していなかったが、今後、同様の問題が生じないために、先輩議員として指導していきたいと考えている。

一方、本決議案の賛成者となった議員は、6月時点で稲浦議員と議員控室を同じくしていたことなどから、問題となった事案に関して十分に指導のできる状況にあつたと思われるので、この手続きには納得できない。また、埼玉県知事選挙の投票所に投票目的でなく行ったことについて、本日、本人に確認したが、「投



票率を確認する目的で行ったものであり、酒を飲んでもいない。」と言っている。

以上のことを総合的に勘案すると、議員辞職勧告決議は適当ではないと考える。よって、本決議案に反対する。

**決議案第4号 賛成討論**

この件に関しては、事案の全てにおいて市職員の証言から、精神的な苦痛を感じたことが明らかであり、議員辞職勧告に値するものと考ええる。

以上のことから、本決議案に賛成する。

**提出された陳情書**

第5回定例会に、次の陳情書が提出されたので、その写しを全議員に配布しました。

(陳情第8号)

◆米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情

**平成30年度の決算が認定されました**

決算認定とは、歳入歳出予算の執行の実績である決算について審査し、収入、支出が適法かつ正当に行われたかを確認するものです。9月議会会期中に、決算特別委員会の設置から議決(決算の認定)までを行いました。

決算特別委員会

委員長	鈴木 健夫
副委員長	大川戸岩夫
委員	和田 貴弘
委員	金子 博
委員	加藤 大輔
委員	佐藤 真
委員	田中まどか

(議案第38号)

平成30年度日高市一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が181億9千171万4千946円、歳出総額が173億4千21万3千200円で、歳入歳出差引額は、8億5千150万1千746円である。

(全員賛成で認定)

(議案第39号)

平成30年度日高市国民健康

保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が61億7千974万5千466円、歳出総額が61億2千622万9千360円で、歳入歳出差引額は、5千351万6千106円である。

(賛成多数で認定)

**討論**

議案第39号 反対討論

平成29年度厚生労働省「国民健康保険実態調査報告」を見ると、平成28年度の調査結果と同様に、不安定な雇用形態の非正規労働者や、厳しい生活状態の方が多く高齢者が主な被保険者となっている。結果、被保険者証を持っている

でも、よほどのことがないと病院に行けないという切実な声も聞かれる。また、国民健康保険税を払えず被保険者証の代わりに資格証明書を渡される方が、平成30年度で19世帯ある。

日高市でも軽減分の繰入金

比で7.6%確保するなど低所得者のための努力がされているが、依然として国民健康保険税負担は大きいと感じる方が多い。被保険者の負担の軽減を図るためにも、国の財政負担を見直す必要があると考える。

以上のことから、本議案に反対する。

議案第39号 賛成討論

国民健康保険制度の改正により、県が財政運営の責任を担うようになったが、将来にわたって国民皆保険制度を守るためには必要なものと認識している。

本決算では、制度改正に適切に対応していること、また、埼玉県の標準的な保険税算定方式に改正したことに対して評価できる。

以上のことから、本議案に賛成する。

(議案第40号)

平成30年度日高市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が6億6千891万642円、歳出総額が6億6千301万8千726円で、歳入歳出差引額は、589万1千916円である。

(賛成多数で認定)